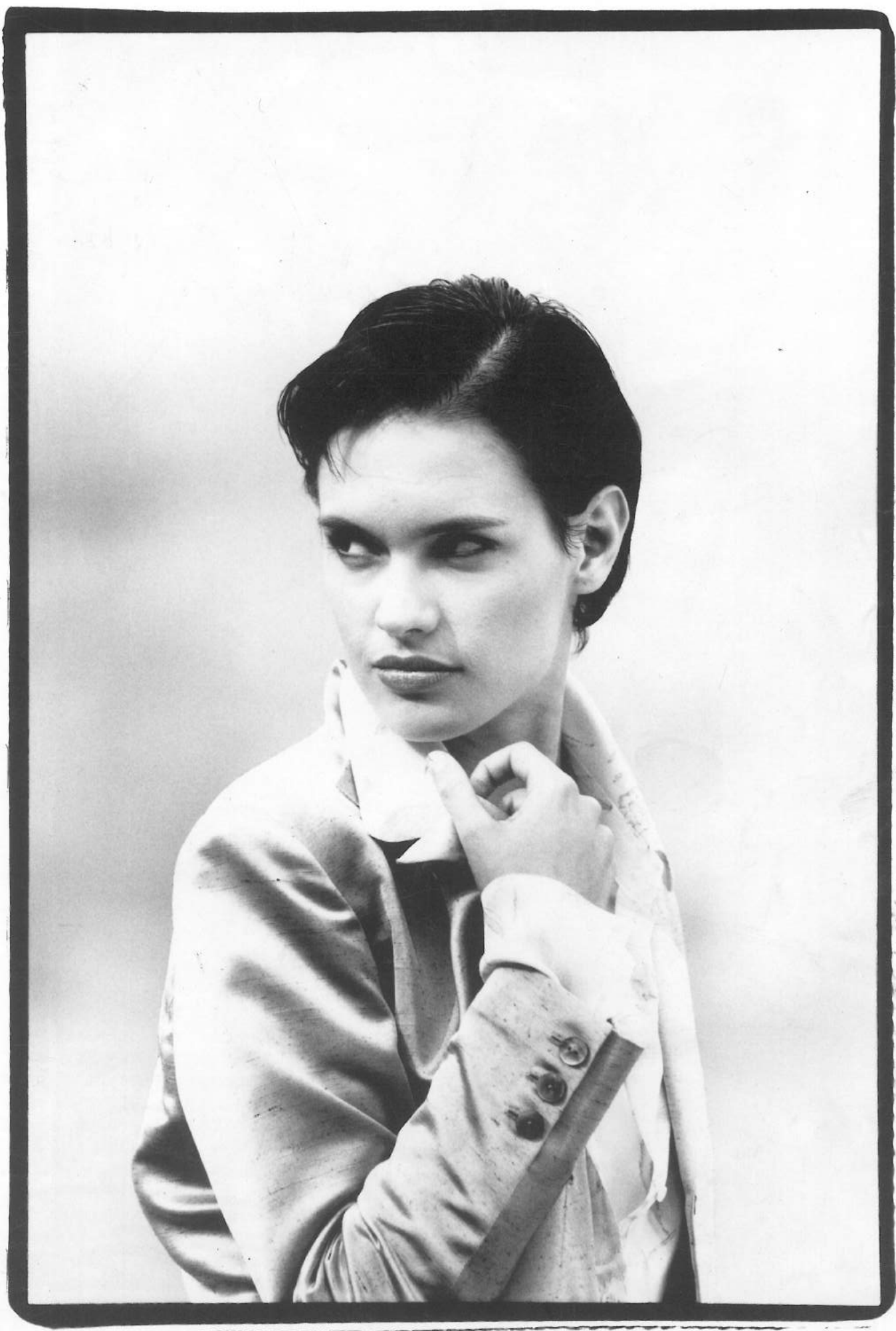




HIROMI YOSHIDA

1997 printemps-été collection

No.3



吉田ヒロミ プロフィール

- 1941年 東京の六本木に生まれる。
- 1960年 高校卒業後、セツモードセミナーにてファッションイラストを学ぶと同時に、母親の経営する「オートクチュールSetsu」にて服づくりの技術修業をする。
- 1964年 セツモードセミナー卒業、渡仏。
日本人として初めてジヴァンシー社に入社。デザイン及び技術を認められ、ジヴァンシー社より7年間有効の労働許可証を取得。アトリエチーフのアシスタントであるセゴンドになり、オードリー・ヘップバーンをはじめV.I.P.顧客の担当となる。
- 1968年 アメリカハーバース・バザー社のスチリストに推薦され渡米。ニューヨークで一年間コーディネート力を養う。
- 1969年 パリのジヴァンシー社には戻らず帰国。
母親の経営する「ブティックSetsu」のオートクチュールデザイナーとしてクリエイション活動をはじめ。
- 1971年 第1回吉田ヒロミオートクチュール春夏コレクション発表。
- 1972年 ブランド「イグレッグ」発表。
- 1978年 T.D.6のメンバーとなり、第14回'78〜'79秋冬コレクション発表。
- 1980年 株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル設立。
「CLOVE vs CLOVES / クローブ クローズ」発表。
- 1986年 東京ファッションデザイナー協議会 (C.F.D.) の設立にかかわりメンバーとなる。
- 1989年 社団法人ザ・ファッショングループに入会。委員を務める。
- 1992年 プレタクチュール'92秋冬HIROMI YOSHIDAコレクション発表。
- 1996年 1月、プレタクチュールHIROMI YOSHIDAコレクション、プレタボルテCLOVE vs CLOVESの2ブランドを中心に、企業のユニフォームを含め意欲的にデザイン活動を展開。また、各種ファッションコンテストの審査委員としてファッション界をバックアップしている。

Yoshida Hiro



もう30年以上と前のこと……。

今、「骨董通り」なんていう。いつ誰がこんなイヤな名前つけたんだろう？ 前にはゴトゴト都電が走る静かな街だったのに。そこへ渋谷駅から乗って高樹町で降りる、変な格好の「セツ・モードセミナー」の生徒たち……いつもお喋りに夢中なので車掌さんがいちいち「もう着きましたよ」と教えてくれたのだそうだ。

高樹町は永平寺。境内の幼稚園が空家になっていると聞いて私が借り受け、そこに大工をいれて手直し、「セツ・モードセミナー」が出来上がった。まさか近所に同じ名前の「セツ」というブティックがあったなんて何も知らずに。

毎日モデルを囲んでデッサンしたり絵を描いたり。教えるというよりは私も一緒に描かせて貰うだけ。私の方が熱心なのは、モデルがいつもとびきり美しいファッションモデル……どんな美術学校もこんな贅沢は出来ないだろう。

なぜかあの頃、「アップ・チュー」という幼児語の号令が発せられ、いっせいに5、60人の人間がモデルのまわりを動き出す。安普請の二階の床がミシミシ揺れて、今にも抜けはしないかと心配した。

ヒロミがそんなところへ初めてやってきたのは、母のお店「セツ」に私宛の手紙類が時々誤配されたからだった。そしてついに入學してしまったのだという。昔は今みたいに抽選などしなくて誰でも直ぐ入れたい時代。彼女が描くのをふと見ると、プリミティブなとってもいい線。なぜか天性の豊かな色彩感覚……それがファッション・ドローイングとなると、とたんに冴え渡ってくる……。やはりお母さんのお店が持つモード環境が良かったせいに違いない。これは否定しようがない事実だ。

今でも忘れられないのが彼女の卒業制作だった。「センセ、これきれいでしょ」と、運び込んだのが、明るいグリーンや黄、紫、黒その他の色のマッスで構成されたおはぎのタブロー。大作(?)なのであった。美しいとかおいしいとか、こんな作品は「セツ・モードセミナー」はじまって以来一度もなかったオリジナル。当然の佳作賞となった。

卒業して暫らく彼女の顔を見ない……。フト誰からともなく聞こえたのは、「今、パリに行ってユミと一緒にいる」とか、「ジバンシীরアトリエに入れた……」なんていう噂だった。高木ユミは「セツ・モードセミナー」の先生でもあったが、一人でパリに行き、その頃はケンゾーと同じデザイン会社に勤めていたはず。間もなく3人が合流して一夏をサントロペに遊んだ……なんていう、夢のような話も。何年後かちょうど「サントロペ・ブルース」といういい映画に追いまぐられ私もサントロペへ。ケンゾーがニース空港へ迎えにきてくれたのは嬉しかったが、その猛スピード運転には生きた心地がしなかったのを思いだす。昼は海浜で、夜は街へと毎日同じ……。秋風に追い立てられるようにして日本に帰る日、「これヒロミに渡して!」とケンゾーが小さな包みを……。昨夜、私とミックマックに^{フラーージュ}行った時にこっそり買ったらしい。「オヤ?」と思ったのだが私はそしらぬ顔をした。

ヒロミの第1回ファッションショーがソニーで行なわれた時の印象が忘れられない。とかく日本人デザイナーの気負った野暮ったさが皆無……。これはスゴイ思ったのだ。間もなく白一色のスノビズムを展開する。夢のような本物のエレガンスがそこにあった。一つ覚えの黒ばかりを有難がってる風潮への反撃。でも安っぽいアヴァンギャルドには決してならないこの知性こそが日本では貴重なのだ。

私はそんなヒロミを絶対信頼するのである。

長沢 節
セツ・モードセミナー主宰

1997 printemps-été collection

CLOVE vs CLOVES

“ゆったり流れる豊かな時間”

ニース、カンヌ、サントロペ……。コートダジュールの海岸線には、映画や小説の舞台となるにふさわしい優雅で華やかな避暑地が連っています。澄んだ青い大空と果てしなく続く紺碧の海を背景に、中世の館が現存するシックな街並を、時間がゆったりと過ぎていきます。コートダジュールに集う人々は、やさしい太陽の光に抱かれ停止しているかのような時の流れを愉しみます。コートダジュールに存在するその“豊かな時間”を……。

吉田ヒロミは“97春・夏クロップ クローブコレクション”を、パリ時代に青春を愉しんだコートダジュールに想いを馳せデザインしました。〈ゆったりと流れる豊かな時間〉をテーマに、ちょっぴりの甘さを加えた吉田ヒロミ流ロマンチックスタイルが新鮮です。フォルムは究極のシンプルさ。人が主役——の服づくりコンセプトは健在です。着る方の意志を存分に演出し表現できる、余韻のあるデザインは全てのラインに共通しています。シティライフは勿論のこと、シーズン真近かのリゾートライフにしてもご自分のこだわりのおしゃれ心を加味することができるゆとりあるデザインです。コーディネートで自分をより輝かせ、心地よい時の刻みをもたらしてくれる美と機能性を備えている服と言えます。特に吉田ヒロミが得意とするパンツスーツは、パリで修得したオートクチュールの技術とその感性から発信する秀逸のスタイルです。

今シーズンのパンツの特徴は、ウエストからヒップまでの女性らしいまろやかなラインを強調したノータックパンツ。少年の脚のように細く長いシガレットパンツや、身体につかず離れずのソフトパンツ、マリーヌルックには欠かせないセーラーパンツ、リゾート地での立役者バミューダパンツ……などなど。パンツのフルデザインが揃うクロップ クローブスだから、今までに経験のないパンツテストを発見することができる予感がします。色彩はあくまでもシック。シンプルなデザインを引き立てる色調です。太陽やネオンを受けて輝やく素材。そして躍動の機能を満足させてくれるストレッチ素材。フェミニンなロマンティック表現にふさわしい、風をふくんでそよぐジョーゼットやシフォン。素材と色彩とフォルムが絶妙のハーモニーを奏でるクロップ クローブスの服は、吉田ヒロミの感性と技が創造するライフスタイルの提案です。ゆったり流れる豊かな時間にお役立て下さい。







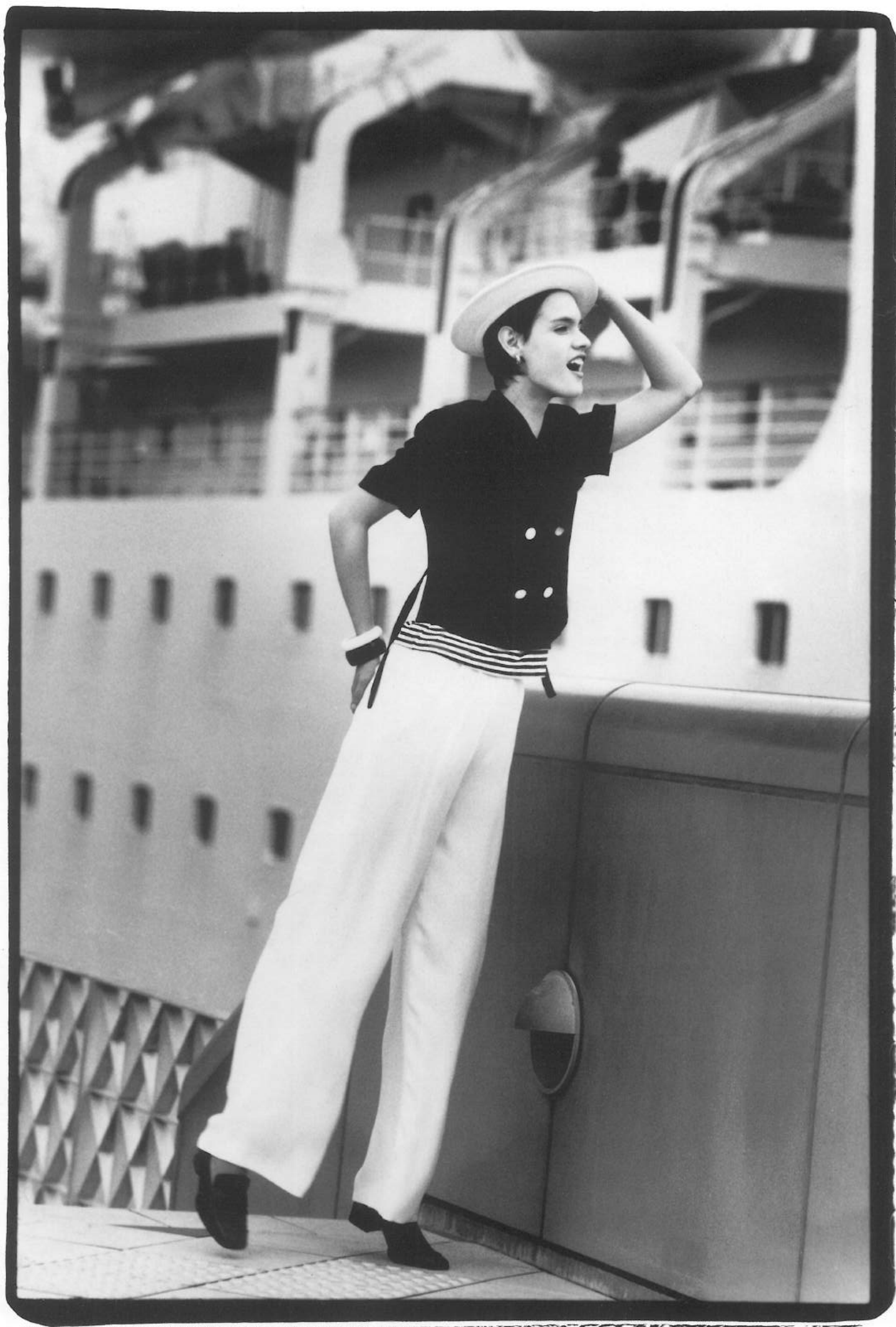


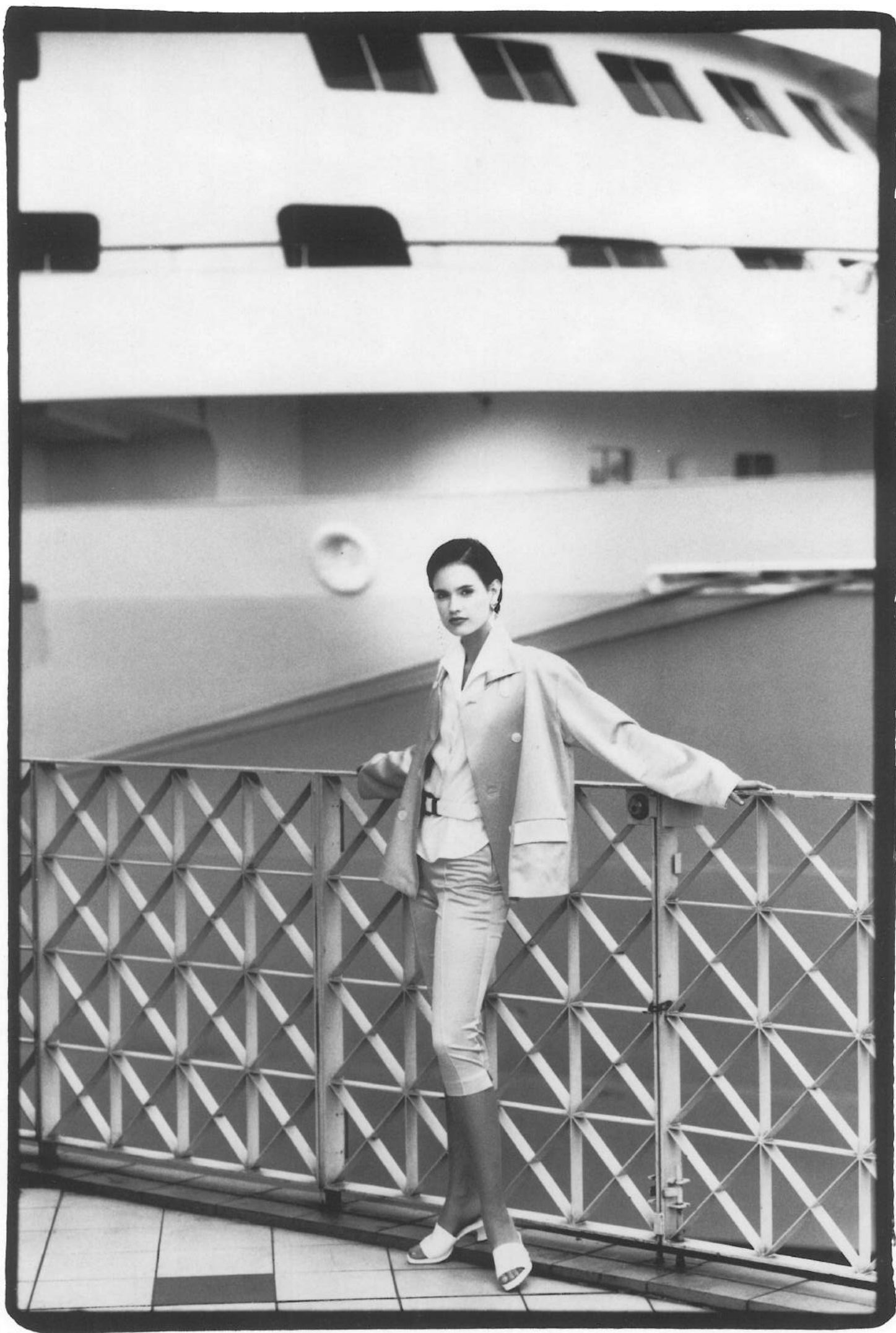












HIROMI YOSHIDA

1997 printemps-été collection

「直営ブティック」

ヒロミ ヨシダ西麻布本店

〒106 東京都港区西麻布3-21-22 YHビル TEL:03-3403-0857

クローブ クロース静岡店

〒420 静岡県静岡市伝馬町9-3 芝田ビル1F TEL:054-272-8668

クローブ クロース岡山店

〒700 岡山県岡山市表町3-2-27 TEL:086-234-5142

クローブ クロース高知 バニラボイス店

〒780 高知県高知市追手筋1-9-8 TEL:0888-23-6679

クローブ クロース大分店

〒870 大分県大分市中央町2-1-22 NEXTビル2F TEL:0975-32-0480

クローブ クロース広島店

〒730 広島県広島市中区三川町5-4 TEL:082-249-5710

商品に関するお問い合わせは、株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル及び上記のショップにて承ります。

「吉田ヒロミ ライセンス商品」

婦人フォーマルウェア:株式会社東京ソワール

紳士ネクタイ:渡正ネクタイ株式会社

婦人メガネ・サングラス:株式会社テレホンメガネ

婦人ニットカットソー(通信販売):株式会社フェリシモ

婦人オフィスユニフォーム:セロリー株式会社



HIROMI YOSHIDA

株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル 〒106 東京都港区南麻布4-5-53 TEL.03-3441-2174 FAX.03-3441-2356